

なかがわ 議会だより

No **157**

2026.8

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



6月6日(土) 中央小学校運動会

主な 内容

- 第2回定例会【一般質問2氏】
- 議員と町民の意見交換会を開催
- 全道町村議会議員研修会及び自主研修に参加
- 議会日誌、編集後記

◆第2回定例会◆

令和8年第2回定例会は6月23日招集され、会期を1日とし、2議員の一般質問、同意9件、報告2件、条例改正2件、工事契約1件、予算補正3件、意見書4件、会議規則4件、議案1件を議決し閉会しました。



第2回定例会の様子

中川町農業委員会

8名の委員を任命同意

主な議案の審議結果

【同意】

▼中川町農業委員会委員の任命

委員氏名		賛成	反対
加藤 貢 氏		7人	0人
横山 芽依 氏		7人	0人
田村 幸基 氏		7人	0人
小林 治雄 氏		7人	0人
小平 木総司 氏		5人	1人
植村 美記夫 氏		6人	0人
加藤 昭洋 氏		7人	0人
三井 陽平 氏		7人	0人

【原案同意】

【承認】

▼中川町固定資産評価審査委員会委員の選任

竹中 隆 氏

【原案承認】

【報告】

▼第34期中川町地域開発振興公社決算報告【報告済】

当期純利益

▲2380万1580円

▼令和7年度中川町繰越明許費繰越計算書【報告済】

○食料品価格等高騰対策事業 3806・6万円

○幼児センターエアコン取付工事 559・9万円

○診療所エアコン購入事業 121・7万円

○（ポンピラアクリズイング）浴槽温度制御装置取替工事 1098・9万円

以上を、令和8年度会計

に繰り越したことが報告。

【議案】

▼損害賠償の額を定めることについて

町道路面の窪みによる車両物損事故の損害賠償

【原案可決】

【条例の一部改正】

▼中川町税条例の改正

【原案可決】

地方税法の改正に伴い、個人住民税の各種特例措置の期間延長、固定資産税に係る家屋・償却資産の免税点の引上げ、軽自動車税に係る環境性能割の廃止及び種別割の名称変更などの改正が行われました。

▼中川町国民健康保険税条例の改正

【原案可決】

地方税法施行令の改正に伴い、基礎課税額66万円を67万円に、5割軽減世帯30万5000円を31万円に、2割軽減世帯56万円を57万円に改正する内容等の改正が行われました。

【工事契約】

▼工事請負契約の締結（歌内本線道路改良工事）

【原案可決】

- ・契約方法：指名競争入札
- ・契約金額：6820万円
- ・契約相手：株式会社佐藤工建（中川町字中川430番地5）

【予算】

▼令和8年度中川町一般会計予算補正 【原案可決】

■主な予算の《追加》

- ・役場外壁金物破損修繕工事 93・9万円（5／5）
- ・6の暴風による破損箇所の修繕）
- ・住民基本台帳システム改修業務委託料 66万円（法改正により住民票振替り仮名登録等に係るシステム改修）
- ・年金システム改修委託料 66万円（年金制度取り扱い変更等に伴うシステム改修）
- ・診療所汎用超音波画像診断装置購入事業 192・2万円（患者負担軽減

のため現在主流の機器の購入）

- ・有害鳥獣対策連絡協議会補助 140・8万円（有害鳥獣駆除のため町費による補助増）

- ・温泉宿泊施設改築工事地質調査業務委託 695

- ・2万円（ポンピラックアリズイングの建て替えに向けた地質調査費用）

- ・エコミュージアムセンター木製看板設置工事 85・6万円（5／5）

- ・6の暴風による被害箇所の修繕）

- ・トレーニングセンター消火栓給水管修繕工事 198万円（経年による給水管破損に伴う修繕）

その他にも、労務単価の上昇に伴う委託料の追加、支出科目の変更等による予算節の組み替えなどを予算補正しています。

歳入と歳出に、2112・5万円を増額し、予算総額を44億6012・5万円

としました。

【予算】

▼令和8年度中川町簡易水道事業会計予算補正

【原案可決】

■主な予算の《追加》

- ・安平志内簡易水道の導水管布設替工事 973・5万円の追加（財源として建設改良等企業債 490万円、一般会計出資金 483・5万円を歳入補正）

【予算】

▼令和8年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

【原案可決】

歳入と歳出に、8万円を増額し、予算総額を1億6260・5万円としました。

質疑応答

■現在の水道料金設定のままでいくと、今後も毎年、今回のような金額（一般会計などからの繰入や補正）を投入し続けなければなら

ない状況になる可能性はあるのか。

■現在の水道料金のまま据え置くと、将来的には赤字が膨らんでいく状況になる。そのため、どこかの段階では水道料金の見直し（改定）は必ずやらなければならぬと考えている。その際には、町民の皆様の理解を得られるような形で検討を進めていきたい。

■「ヒグマ対策における「ゾーニング計画」の現在の進捗状況はどうか。また、町で所持している「箱わな」の基数と、現在の設置状況は。

■「ゾーニング計画」（市街地などの「排除地域」（ヒグマを来させない）、住宅地以外の農地などの「防除地域」（寄せ付けない）、山（コア生息地）との間にある「緩衝地帯」を設定し、ヒグマが下りてきた際の「追い払い・駆除」を判断するためのもの）は既に作成が完了している。「箱わな」

は町で3基所有しており、今年度は2基設置する計画を進めている。設置候補地はあるものの、周囲に迷惑がかからない最適な場所の選定に向けて地権者との調整等を行っている段階であり、現時点ではまだ設置に至っていない。

■町で予定している2か所の「箱わな」の設置時期はいつ頃予定か。

■猟友会と相談しながら場所を決定し、夏時期に向けてできるだけ早い時期に設置したい。

■町民からは「ヒグマは捕獲しないのか」という不安の声が日々寄せられており、すでに市街地にも出没している。積極的な捕獲に向けて動くことが安心につながる。ゾーニング計画の中長期的な取り組みと並行して、今日の前にいるヒグマへの対策を同時進行かつ積極的に進めるべきだが、町の考えは。

【答】目の前の日常的な対策と、中長期的に地域を守るための対策（森林整備を伴う緩衝地帯の維持など）は、時間をかけてどちらも並行して取り組んでいかなければならないことだと考えている。今後も長いスパンを持ってしっかりと取り組んでいく。

【問】奥道北ツーリズム関係協議会について、その構成メンバーは。

【答】中川町と音威子府村で協議会を構成し、本協議会の構成員は中川町長と音威子府村長である。

【問】温泉施設の改築計画が進んでいる一方で、地域開発振興公社の令和7年度決算が報告をされ、単年度で2000万円を超える赤字が出ているが、町としてのどのような見解を持っているか。

【答】赤字という結果については非常に残念に受け止めている。公社において経営悪化の原因分析等を行い十分

な対応を行っていくのとこのことである。町民の保養施設という公的な側面もあり、町としても必要な支援など今後検討してまいりたい。

【意見書】

▼北海道最低賃金改正等に関する意見書

【関係機関に送付】

要旨…道内で働く者の暮らしは近年の賃上げをもつてしても実質賃金がマイナスとなっており、物価上昇の影響により生活向上が改善したと感じる人は少数であると考えられます。最低賃金の引き上げ額が低ければ、生活はより一層厳しく、北海道経済にも悪影響を与えかねません。以下の措置を講ずるよう強く要望します。

①地域間格差については正を図ること②道内短時間労働者の平均時間額や民間の求人時間額等を参考として最低賃金の引上げを行うこと③設定する最低賃金は②の指標の時間額と同等水準とすること④労務費の適切

な転嫁のための価格交渉に関する指針を推し進めること。

▼地方財政の充実・強化に関する意見書

【関係機関に送付】

要旨…地方公共団体には少子高齢化に伴う社会保障制度の整備、子育て施策、地域活性化、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など極めて多岐にわたる新たな役割が求められている中、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額の更なる充実が図られる地方財政を実現するよう、次のように求めます。

①積極的な地方財源の確保・充実②中川町立診療所が地域医療の要であることから、処遇改善を含む人材確保に必要な財政支援と経営の安定化に必要な繰出金等の財源確保③子育て対策、介護や生活困窮者の自立支援などを支える人材確保にむけた自治体の取り組みを

支える財政措置。

その他にも、地方交付税の法定率の引上げ、減税を検討する場合は地方財政への影響を補填、地方創生推進費の恒久的財源化、会計年度任用職員の処遇改善などが必要等の内容。

▼義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆた

かな学びを求める意見書

【関係機関に送付】

要旨…国においては、義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率の1/2への復元、早急に実効性のある教職員の超勤・多忙化解消、「30人以下学級」の実現など、学校がゆたかな学びの場となるよう、教育予算の確保・拡充、修学保障の充実をは



中学校体育大会

かるよう意見します。①義務教育費の無償化と義務教育費国庫負担金の負担率を1/2に還元②給食費・修学旅行費・教材費など保護者負担の解消、図書費などについての十分な確保・拡充③就学援助制度・奨学金制度の更なる拡大など就学保障の充実④小中高の30人以下学級の早期実現、教職員定数改善や加配教員増員⑤学習指導要領の内容及び標準授業時数の見直し。

▼ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書



【関係機関に送付】

要旨…北海道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負担の少ない循環型社会の形成に貢献するためには、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策を一層進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることが必要です。よって国においては次の措置を講ずるよう強く要望します。①地球温暖化や山地災害の防止などの推進に必要な予算を十分に確保し、森林の保全と適正な利用に向けた取組を進めること②森林資源の循環利用推進、優良種苗の安定供給、鳥獣害・病虫害など森林被害対策、スマート林業、道産木材の需要拡大、森林づくりを担う多様な人材の育成・確保など必要な支援を充実・強化すること。

【継続調査】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事件

- 1 福祉施設のあり方について
- 2 少子化に対応した学校教育について
- 3 総務常任委員会にかかわる施策について

■期限

令和8年第3回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事件

- 1 地場資源の活用と地場産業の振興
- 2 働き手不足の解消策について
- 3 経済常任委員会にかかわる施策について

■期限

令和8年第3回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

- 1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

令和8年第3回定例会まで

【継続調査決定】

【議員の派遣】

▼全道町村議会議員研修会（札幌市）、全道議会広報

研修会（札幌市）

【議員派遣決定】

一般質問については、次のページより掲載していきます。



議場での審議ようす

中川科の取り組みを ふるさと納税に生かしては

答 自由な発想の尊重と学びや成長を 重視していく



今野大樹 議員

今野議員

教育行政執行方針で示された次の4点について伺う。

①「学校教育の充実と子育て支援の充実」で中川科、ふるさと学習について取り組みは素晴らしいが、3年生の3学期に報告会を実施したこと、生徒考案の製品のふるさと納税返礼品への進め方への考えは。

②児童生徒への昼食供給を拡大することについて、今後のサービス向上に向けた管理栄養士の配置やメニューの考案についての考えは。
③「健やかな体づくりとスポーツ活動の普及」で地域クラブ活動への移行に関する議論状況と地域指導者との連携の現状は。
④「15の春」というテーマについて教育委員会のビジョンを伺う。

正田教育長

1 点目、中川科では地域課題の解決を通して主体性を育みます。3年生の最終報告会は受験に配慮し12月に前倒しし、また、生徒が考案した商品のふるさと納税への活用も検討しつつ、成果だけでなく学びや成長を重視してまいります。

2 点目ですが、令和8年度2学期から、地元事業者による授業日の昼食提供を毎日実施しますが、子育て支援と地元経済の循環につながる取り組みとして進め、献立は利用者の意見を踏まえ、受託事業者とより良い内容を検討してまいります。

3 点目ですが、文化・スポーツ活動は地域クラブへの移行を進め、「なかがわスポーツくらぶ」を運営主体とします。地域指導者や保護者による応援体制を整

え、令和8年度から推進協議会へ移行し、持続可能な地域クラブ活動を推進してまいります。

4 点目ですが、町内に高校のない本町では、「15の春」をハンドではなく、自立へのスタートラインと捉えています。小中9年間を通して学びと育ちを高校へつなぎ、故郷で育まれた自己肯定感を支えに、一人ひとりの進路を学校・家庭・地域が伴走する教育を推進し、卒業後も関係人口として生涯にわたり中川町とつながり続ける教育を推進してまいります。

今野議員（再質問）

中川科の取り組みの中で、生徒の学びについて先生や周りの大人の関り方はどうしているのか。

正田教育長

基本的には生徒のやりたいをフォローし、3年間の中で実現可能かをアドバイスするなど、試行錯誤も先生と一緒にやっている状況です。

今野議員

ふるさと納税については、個人納税額が伸びていないこともあり、取り組みの過程などが大切なことは承知しているが、目に見える結果があれば達成感を得られるのでは。

正田教育長

議員のいう通りですが、子ども達に一定の教育効果があるように行う事、また製品化を目指してしまつと発想が狭まることにもなるので、自由な発想ができるようフォローしていきます。

今野議員

愛食弁当について、地元の経済循環につながる形で提供はこれまでも求めてきていたので大変うれしく

思う。今後はこのサービスに関して保護者の意見を聞き取りやすい環境を作って頂きたい。

正田教育長

友達と同じものを食べるという教育効果もあり、好き嫌い関係なくみんなで喫食できるということを心がけてまいります。



教育課長

アンケートがいいのか、PTAの集まりの際に意見を頂くのか、参観日のクラス懇談会がいいのかなどということも含め、学校と相談し検討していきます。

問 遊休(牧場)地再利用の 植林について



答 新しい森林モデル事業構築の中で 検討します

小池議員

本町の遊休(旧牧場)地は、約600haの総面積を保有していますが、この膨大な遊休地を無駄に放置することなく再利用として、町有・町民の次世代へ繋ぐ財産づくりの基盤とした、中川町が掲げている「森林文化の再生」を活性化させるために、クラウドファンディングを活用することにより、人と人のつながりも生まれ、長期的なプロジェクトを中川町の「存在的魅力発掘」として進めるべきではないか。遊休地へ植林を行うことにより「お金を生み出し」様々なメリットが生まれ、私たちの生活に不可欠な「公益機能」を持つており、持続的なサイクル事業を行うことが中川町の森林づくりを進めることが重要と考えられます。ま

た、「中川町ゼロカーボン推進計画」で宣言し、推進協議会も設置されゼロカーボンに向けて協議が行われており、中川町のテーマに基づいた豊かな森林づくりは、地域の活性化と担い手育成を健全な姿で「次世代」に引き継ぐために、安全で快適な暮らしと持続可能な社会の実現を目指すために、「新しい森林モデル事業」の取り組みについて伺う。

石垣町長

遊休地牧場の植林については、本町は平成25年度以降休止した旧町営牧場で、計画的な人工造林をすすめており現在まで、共和、豊里、板谷地区の旧町営牧場への段階的な人工造林を行っており樹林化がすすんでいます。遊休地牧場の再利は、計画的な植林を継続し、



小池 豊 議員

樹林化による財産の利活用(再利用)をすすめております。森林整備と関係人口創出と組み合わせた事業が展開されております。クラウドファンディングの利用ですが、ガバメントクラウドファンディングを、明確化や関係人口の巻き込み、多様な主体との連携の取組みや、共感できるストーリーが重要となるため、今後の新しい森林モデル事業の構築で、魅力的で特色のある事業の立ち上げを検討してまいります。

小池議員(再質問)

町長は、議会だより149号で、遊休公共牧場の林地化は有効でゼロカーボンに貢献でき主眼として取組むのが一番良い方法で、今後も引き続き様々な施策を研究し農林課と検討します

と答弁でありました。その後4年が過ぎるが、農林課とどのような研究がされましたか。

石垣町長

旧牧場用地を樹林化にする、基本的な考えとしてはその通りで、地形的にも傾斜的にも樹林化していくことが望ましく、現状の計画の中で着実に進めていく考えですが総合的に発注事業の計画を考えていく必要があると認識しています。

小池議員

遊休地へ育林することで公益を生み出し木は365日休むことなく成長し「収益源」を、どんどん膨らみますので一刻も早く植えたらどうでしょう。



旧遊休牧場地

石垣町長

現実的にどこまで事業力

として可能なのか、補助事業も駆使しながら効率的に考えており、分量は計画的に推進していくところです。

小池議員

中川町の未来に向けた森林の持続可能開発の目標とした、環境保全カーボンニュートラルへの期待と社会意識のクラウドファンディング向けの施策として大規模プロジェクトの取組みのお考えは。

石垣町長

クラウドファンディングは、ストーリー性の高いお金を給付したくなるようなプロジェクトは樹林化について展開していくことは検討する必要がある、将来的にお金に変わるものであることはまさにその通りで否定はしません。計画的に、財政力からすれば、一定程度計画的に長期的な視点で進めていかなければならないという課題が大変多いという状況です。

町民との意見交換会

5月28日、29日に開催

議会改革特別委員会
(委員長…今野大樹議員)

では、将来の中川町議会のあり方を考える上で重要な課題である議員のなり手問題や直接民主制として町民の意見が尊重・反映される議会運営のあり方などについて議論を継続し、町民アンケートの実施を含め、様々な角度から検討を行ってまいりました。

5月28日、29日に、町民アンケート結果をもとに「議員活動・議員のなり手問題」「議員報酬のあり方」などのテーマで町民の皆さんとの意見交換会を開催しました。

議員報酬について

▼参加された皆様からの主な意見

- ・中川町は人口減、産業構造も厳しい状況で、夜歩いている人も見ない。これは中川町の崩壊を意味している。安平志内地区の対策など、議会は具体的対策を考えるべき。今後のマチづくりの展開が見えない。反省が必要。この厳しい財政状況の中、議員報酬を上げることなどまだまだ先のこと。そんなことより活性化政策を掲げ町民とともに戦える体制整備が先である。

- ・誰かがおっしゃった「財政が厳しいから報酬

を上げない」というのは理屈に合わない。議員報酬が20年近く改定されていないとしたら、これも併せておかしい話ということにもなる。

- ・今の報酬を見たら、絶対的に生活を考えていくと、成り手はなかなか出てこないだろうなと思います。

- ・議員さんは決して良くは言われなくとも、きちんと仕事をしてくるっていう自負を皆さん持つて活動していってほしい。その姿を見て、次の議員の方々がこれから出てくるっていうことがすごく望ましいと思うので、報酬については、私は個人的

には低すぎると思うので、アップして当然だと思います。

- ・議員・議会活動に見合うだけの報酬が必要だということふうに私は考えています。

- ・この現状から言えば、「もしかして上げる」ではなくて、もはや「あげなきゃだめ」な段階ですよ。自分子どもだと考えたなら「議員になれ」と言えるか。



町民との意見交換会 中川会場(5月28日)

・アンケート結果も見だが、現行の議員さんが「これぐらいはもらわんと」っていう言い方ではなく、全道平均を示している。逆に「お前それだけもらって何やってるんだ」という議論が巻き起こるくらいになればいいと思っている。

議員定数・その他

▼参加された皆様からの主な意見

・あまり町の将来を悲観しないでまちづくりを進める方向性が良いと思います。

・参加者が少ない。これは議会に対して町民の関心がないことか。なぜこれまでこういうことをやってこなかったのか。

・今の若い人たちは、この森が好き、この自然が

好きで中川に惹かれて来てる。だからそれを伝承していくようなまちづくりを目指すべき。

・今、名寄や士別でもなり手問題で四苦八苦してる。名寄・士別の規模で

すら。

・特別職報酬等審議会委員に、家庭の主婦層など、女性を積極的に構成メンバーに入れられないものか？



町民との意見交換会 中川会場(5月29日)



町民との意見交換会 佐久会場(5月29日)

皆さまからのご意見を大切にします

今回、議会としての初めての取り組みとして「町民との意見交換会」を開催しました。

意見交換と一口に言っても、様々に出していただいたご意見を受け止めるだけでもかなりのパワー！・エネルギーが必要だということに、議員一同改めて痛感したところです。

いただいたご意見には、参加がかなわなかった町民の皆様の「声なき声」を確かに感じました。

こういう機会を今後も展開致したく、また今後の政策提言などに活かしてまいりたく思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

全道議員研修会で 人口減少社会と議会の役割を学ぶ

人口減少問題に
ついて自分事として

聴講

全道町村議会議員研修会が7月2日札幌コンベンションセンターで開催され、全道から町村議員と事務局職員が参加し、本町議会からは8名の議員が研鑽を積みました。

研修会では、2氏が講演し、関東学院大学法学部の牧瀬稔教授は、「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」をテーマに、人口減少社会における地方議会の役割などを講演されました。

「過去、何度も国の言われるままに地方が踊っ

てしまい、その結果、自治体衰退、自治体崩壊に進んでしまった事例がたくさんあるのではないか。」と問題提起する一方「人口を維持するという視点で世代・対象者と

いったターゲットを絞った戦略を議会主導で行うことが重要」と聴衆に訴えました。

また、ジャーナリスト 須田慎一郎氏は、「どうなる政治・経済」日本再

生のために何が必要か」をテーマに講演され、昨今の政治情勢を痛烈に分析しながら、経済ジャーナリストとしての視点において、国際紛争や混乱した国内状況下においても町村議会がきちんと丁寧に民意をすくい上げることから真に豊かな地域社会を取り戻していくべき、と語りかけました。



全道町村議員研修会



JAカレッジ視察

江別市
「JAカレッジ」を
視察

翌日7月3日は、議会

自主研修として江別市にあるJAグループ北海道が運営する「JAカレッジ」を視察しました。この施設は、高校等を卒業後、JAの幹部職員を目指す人材を育成する1年制学校として、また、JA職員の研修機関として長い歴史のある施設です。近年の就業人口減少に伴いJAにおいても就職希望者が減少する中、学校としての性格を活かし、奨学金制度及び3年以上JAに就職すれば奨学金返還免除といった制度を創設することで、北海道外からも入学希望者があること、また、JAで勤務する上で必要な諸資格（危険物取扱・毒物劇物取扱・ファイナンシャル

プランナー・人工授産師など）を取得させ、現場において即戦力となる人材育成をおこなっていることなどの説明を受けました。

特に感銘を受けた点については、本町の生徒が地元就職（JA北はるか）を希望する場合に非常に有利であり、若い世代の人口流出対策としても有



ホクレン農業総合研究所を視察する町議会議員

効なことから、地域においてもJAカレッジの存在について広くPRすべきとの感想を持ちました。

長沼町「ホクレン農業総合研究所」を視察

北海道農業の基盤を支える研究開発の現状把握



とスマート農業、作物の品種開発・品質管理等の最新動向を理解すべく、ホクレン農業総合研究所長沼研究農場を訪問し視察しました。

主な施設として、圃場20・8ha、研究棟1405㎡、その他に作業棟、温室、貯蔵庫、パイプハウス他を有する研究農場は、場所柄、新千歳空港を離発着する航空機が上



ホクレン農業総合研究所を視察する町議会議員

空を頻繁に往来する中、特にカボチャや小麦といった中川町において好適な作物や、長なすの水耕栽培実験ハウスなど、広い圃場を実際に踏査しながらの視察でした。特に専門分野である経済常任委員から担当研究者に対して多くの質問と意見交換を行い、最後はホクレ

ンRTKシステムを活用した自動運転トラクターの実演を見学し、非常に有意義な視察となりました。

今回の研修成果は地域の人材育成や就業人口の増大、各種農業施策など、様々な政策提言や議案審議等、今後の議会活動に活かしてまいりたいと思います。

JAカレッジ視察で得た学び 小規模自治体に活かせる視点

研修一〇メモ

人材確保が困難な時代にあって、JAという大きな組織でも様々な努力や投資を行っている現状を知り、我が町も人材確保への取り組みを再考する必要があると感じた。

（大樹記）

議 会 目 誌

4月

17日 高齢者就労センター総会

18日 参議院議員長谷川岳政経セミナー【札幌市】

21日 名寄警察署長着任挨拶
中川町商工会青年部通
常総会

5月

1日 衆議院議員東くによし
国政報告会

19日 中川町商工会通常総会
21日 こども家庭センター合
同会議

26日 天塩川中部商工会広域



中央小大運動会のようす

6月

3日 上川地方総合開発期成
会定期総会【旭川市】

6日 中央小大運動会
7日 名寄駐屯地創立73周年
記念式典

9日 北海道町村議会議長会
定期総会【札幌市】

10日 中川町自衛隊後援会通

31日 北海道14支庁パークゴ
ルフ大会

〃

29日 名寄地区自衛官志願推
進協議会防衛講話【名
寄市】

27日 中川町観光協会通常総
会【美深町】

連携協議会通常総会



天塩川de水切り大会のようす

常総会

15日

戦没者追悼式

第7回全員協議会

〃

第4回議会運営委員会

23日

第8回全員協議会

〃

第2回定例会（一般質
問、議案審議）

24日

総務常任委員会
経済常任委員会
第5回議会運営委員

7月

2、3日

全道町村議会議員
研修会、町議会自主研
修【札幌市、江別市、
長沼町】

5日

天塩川de水切り北海道
大会

11日

佐久ふる里会ビールパ
ーティー

YouTubeで一般質問を配信中

町議会では、議会を身近に感じてもらうと、一般質問を
YouTube（ユーチューブ）で録画配信しています。

「中川町議会」と検索するか、下記または一般質問のページの
QRコードをご利用ください。



中川町議会の
チャンネル

※QRコードは㈱デン
ソーウェブの登録
商標です。



教育行政執行方針の「学校教育の充実と子育て支援の充実」
「健やかな体づくりとスポーツ活動の普及」について

▲YouTubeの配信画面

編集後記

夏本番を迎え、町内でも
お祭りやイベントなど、人
が集い笑顔が広がる季節と
なりました。暑い日が続い
ていますが、皆さまいかが
お過ごしでしょうか。

今号では、6月定例会で
議論された内容をできるだ
けわかりやすくお伝えでき
るよう努めました。議会を
もっと身近に感じていただ
き、町のことを一緒に考え
るきっかけになれば幸いで
す。

これからも皆さまの声に
耳を傾けながら、より良い
まちづくりに取り組んでま
いります。

どうぞ熱中症には十分お
気をつけいただき、楽しい
夏をお過ごしください。

（真）

議会広報特別委員会

委員長 佐々木英和

委員 若山 真一



この広報紙は道産間伐材を使用しています。